

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 2月 25日

事業所名 あさがおねっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		フロア・階段に手すりを設置している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			日々の支援の振り返りをするとともに週1回以上のケース会議・月1回の職員会議にて情報共有をしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者懇親会を実施	保護者懇親会を実施。アンケートにて意向と改善点を把握し改善につなげている。今後、保護者懇親会実施の機会を増やす予定である。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ・ブログにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在検討中につき、業務改善につなげる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			地域の研修会への参加、事業所内での内部研修を定期的に行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			アセスメントを取り、デイサービス計画を作成している。達成状況など必要に応じて作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			それぞれの職員に担当を決め、ミーティングをしてプログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			週ごとに活動プログラムを作成し、利用者が楽しく参加できるように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			パソコン教室、ピアノレッスン・シャルスキルトレーニング、外出支援を積極的に行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで放課後等デイサービス計画を作成している	○		長期目標、短期目標を設定。状況に応じ計画を更新している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日のミーティングで確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の振り返りにて共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳とケース記録の作成をしている、	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		週1回モニタリングを行い、職員で見直しの必要があるか話し合いをしている。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	○			集団活動、日常生活動作の習得などの活動を組み合わせることで支援を行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者・各学校の担任と連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	該当者なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		計画相談員を通じての情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		計画相談員と定期的に連携し、現状を報告し情報を共有し提供を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	該当者なし	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		今後積極的に行う
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		自立支援協議会がないが、あれば参加したい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートの活用、送迎時や電話でその日の様子などお伝えしている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者懇談会や面談・電話相談などで聞き取り、助言を行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談に対して適切に対応、必要な助言・支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		中心として保護者懇談会を実施。保護者同士の交流・情報共有が出来る様支援している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月の活動予定表配布、日々の取り組みや個別療育についても保護者に知らせている。	
	35	個人情報に十分注意している	○		重要事項説明書に基づき十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個々に合わせた情報伝達方法をとっている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		季節のイベント(夏祭りなど)を行い、地域の方も参加してもらえる企画を実施している。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員への周知済み。保護者には来所時に見てらせるように事業所入口に掲示している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に防災に関する訓練・勉強会を行い、消防士からの指導を受けている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員研修を実施。事業所内にマニュアル掲示している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			該当なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの有無を確認。その都度適切に対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を作成し、事業所内で共有している。	